

## 労働経済学における英文教科書の出版動向

伊佐勝秀\*

周知のように、日本では経済学の教育・研究は欧米からの「輸入学問」として始まった。労働経済学も例外ではない。また近年では研究のみならず、学部教育においても英語の使用が広がりつつある。その意味で外国語、とりわけ英文の教科書の調査研究は重要であろう。他方で近年、中央教育審議会での学士課程教育の見直し論議<sup>1</sup>や日本学術会議における「経済学」の定義（教育参照基準）問題<sup>2</sup>などをきっかけに、経済教育の在り方が注目を集めている。これは学問の制度化とも関連するが、そのためのツールとして大きな役割を果たすのが教科書である。この点でも、教科書研究は重要である。しかし日本では、例えば教育学では教科書研究が盛んに行われているが、経済学ではそうした研究は管見の限り、これまで皆無に等しい<sup>3</sup>。

私事ながら、筆者は過去10年以上に亘り、大学の学部及び大学院で労働経済学の講義に携わってきた。その過程で複数の邦文教科書を使用し、その多様性に気づかされた。またその間、2010年8～9月には中国の吉林大学に派遣交換研究員として滞在する機会を得たが、その際に日本では目にしたことのない複数の英文教科書に接した。これをきっかけに、2011年3月に中国人民大学で、また2012年3月に香港浸會大學で文献調査を行い、多くの英文教科書を実見した。

こうした実地調査を元に、筆者は既に日本及び中国の労働経済学の教科書のサー

---

\*本論文の草稿の一部は、西南学院大学の在外研究制度を利用して筆者が香港中文大學に滞在した2012年9月から2013年9月の間に作成された。

<sup>1</sup> 「学士課程教育の構築に向けて」中央教育審議会答申の概要 ([http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryo/attach/1247211.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/siryo/attach/1247211.htm); 2015年2月21日最終アクセス)。

<sup>2</sup> 「経済学分野の参照基準検討委員長」での議論 (<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/bunya/keizai/giji-sanshoukijun.html>; 2015年2月21日最終アクセス)。当初案では新古典派経済学を主たる参照基準とする画一的な経済学教育が目ざされていたが、直近の報道によれば、その後の議論を経て多様性や自主性を認めるものへと修正された。詳しくは、近刊の八木他 [41] を参照。

<sup>3</sup> 労働経済学に限定して言えば、アメリカについては McNulty [22] や Kaufman [17]、Boyer and Smith [6]、Kaufman [19]；岸本 [35, 補論]、島田 [40]、田村 [39, 序章]、奥西 [34] など、また日本については 神代 [36] や 野村 [44]、神代 [37] など、研究史研究は少なからず存在する。しかし教科書研究は管見の限り、英語圏では存在せず、日本についても尾高 [42] と伊佐 [32]、伊佐 [33] があるに過ぎない。

ペイを行ってきた(伊佐 [32] 及び伊佐 [33]) が、英文教科書については、その範囲の広さ故に取りまとめ作業が遅れていた。2012年9月～2013年9月の香港中文大学での在外研究中の文献調査は、この作業を進める上で大いに有益だった。本稿は、上記のような研究上の空白を埋めるべく、筆者が過去数年に亘って行ってきた、邦文教科書の源流にある海外、とりわけ英文教科書の動向に関する調査の中間報告である。

まず本稿で取り上げる「労働経済学/論 (labor<sup>4</sup> economics)」の教科書とは、タイトルに”labor economics”(または wages, employment, manpower, labor market, industrial relations など、それに類する単語) が使われ、まえがきや目次、内容などから、それが学部(もしくは大学院)向けの入門書と判断でき、かつ市販されている書物を指すものとする。ただしテキストと研究書等との境界は曖昧である。また労働経済学は、社会政策や労使関係論、労働法などの隣接領域とも未分化な時期があった。それ故、上記の定義は相対的なものと解して頂きたい。なお、例えば”labor economics”という語がタイトルにあっても、内容が論文集であると判断されるものは除外した<sup>5</sup>。また近年、「人事経済学 (personnel economics)」という研究領域が開拓されつつあり、教科書が複数、出版されている<sup>6</sup> が、これも本稿では除外した。同様に、人的資源管理 (human resource management) が主題であるもの<sup>7</sup> も除外した。

英文では、”labor economics”という単語の入った教科書の嚆矢は Blum [4] だと言われる (McNulty [22, p.127])<sup>8</sup>。この本は、本文 pp.579、全21章のうち実に11章が労働運動や(集団的)労使関係に関する話題にあてられるという、隔世の感を禁じ得ない構成をとっている。爾來、今日まで数多くの教科書が英語圏で発行されてきた。

書誌情報の収集に当たって使用した主なデータベースは、国内では「国立国会図書館サーチ」(NDL Search) 及び「Webcat Plus」、国外では「アメリカ議会図書館オンラインカタログ」(Library of Congress Online Catalog) である。検索結果を元に、可能な範囲で教科書を現物確認した(ただし全てではない)。その結果、107点の教科書が英語圏で発行されてきたことがわかった<sup>9</sup>。他方で、日本語による翻訳のあるものは、このうちの6点に過ぎない<sup>10</sup>。原著での被引用機会の多い

<sup>4</sup> アメリカ以外の出版国では、タイトルに”labor”ではなく”labour”という綴りが使われていることが多いが、煩雑さを避けるため、以下では両者を同一表記として扱う。

<sup>5</sup> 例えば、Rowan and Northrup [31]。

<sup>6</sup> 例えば、Lazear [21]。

<sup>7</sup> 例えば、Mitchell and Zaidi [23]。

<sup>8</sup> なお、日本ではこれに先立ち 1922年に、「労働経済(労働経済)」がタイトルに含まれている教科書として北澤 [43] が出版されている。

<sup>9</sup> 問題集や教科書の副読本 (study guide のようなもの) は対象外とした。

<sup>10</sup> Hicks [16]、Rothschild [30]、Fleisher [13]、Freeman [14]、King [20]、及び Rees [26]。

Ehrenberg and Smith[12] や Borjas[5]などを加えても、日本で知名度のある教科書は全体の10%程度と思われる<sup>11</sup>。

特筆すべきは、本稿で取り上げた文献の98%が日本のいずれかの研究機関で収蔵されているという事実である<sup>12</sup>。まさに「灯台もと暗し」だが、上記のような偏った紹介・参照に加えて、機関横断的なデータベースが構築されていないため、その全体像はこれまで明らかにされてこなかった。

調査の結果、幾つかの事実・特徴が浮かび上がった。特に改訂数の多さ(107点のうち44点、全体の41.1%<sup>13</sup>)は、日本語のもの<sup>14</sup>と比べた時に顕著である。このような違いを生み出す要因とは何だろうか。日本で改訂が少ない理由としてすぐに思いつくのは、英語と比べて市場規模が小さいことである。それ以外にも、に不況や少子化が拍車をかけた出版不況、学術出版を取り巻く環境の厳しさ、教科書の書き手の乏しさ、教科書執筆における分業体制の不備など、様々なものが考えられる。しかし、ここでは早急な結論を出すことは禁欲したい。

もとより、本稿のデータベースは決して網羅的なものではない。データベースの精査や、より詳細なデータ分析、個々の教科書の内容に踏み込んだ検討などは、別稿を期したい。

## 参考文献

- [1] J. T. Addison and W. S. Siebert. *The Market for Labor : An Analytical Treatment*. Goodyear Publishing Co., 1979.
- [2] Dell P. Champlin and Janet T. Knoedler, editor. *The Institutionalist Tradition in Labor Economics*. Armonk, N.Y.: M. E. Sharpe, 2004.
- [3] Gordon F. Bloom and Herbert R. Northrup. *Economics of labor and industrial relations*. Philadelphia ; Toronto : Blakiston, 1950.
- [4] Solomon Blum. *Labor Economics*. New York : H. Holt, 1926.

<sup>11</sup>多くの英文教科書を引用している日本の文献としては、島田[40, pp.12-4]と神代編[38]がある。前者が引用しているのは、Lester[29]、Bloom and Northrup[3]、Reynolds[28]、Chamberlin[9]、Cartter[8]、Fleisher[13]、Freeman[14]及びRees[27]の8点である。後者が引用しているのは、Don and Jackson[11]、Hoffman[15]、Addison and Siebert[1]、Ehrenberg and Smith[12](6th ed.)、Kaufman[18]、McConnell, Brue and MacPherson[7](4th ed.)、Filer Hamermesh and Rees[25](Rees[27]の改訂版)の7点である。

<sup>12</sup>表中、Peitchinis[24]とCosbert[10]のみ日本での所在を確認できなかった。

<sup>13</sup>表中の「版情報」にある数字、例えば「2/e(1963)」は、第2版が1963年に出版されていることを示す。

<sup>14</sup>伊佐[33]によれば、57点のうち9点、全体の15.8%に過ぎない。

- [5] George J. Borjas. *Labor Economics*. McGraw Hill Higher Education, 1996. (7th ed. in 2015).
- [6] George R. Boyer and Robert S. Smith. The development of the neoclassical tradition in labor economics. *Industrial and Labor Relations Review*, Vol. 54, No. 2, pp. 199–223, Jan., 2001.
- [7] Campbell R. McConnell, Stanley L. Brue and David MacPherson *Contemporary Labor Economics*. McGraw Hill Higher Education, 1986. (10th ed. in 2013).
- [8] Allan M. Cartter. *Theory of wages and employment*. Homewood, Ill. : Irwin, 1959.
- [9] Neil W. Chamberlin. *The Labor Sector: An Introduction to Labor in the American Economy*. NY: Mcgraw-Hill, 1965.
- [10] W. F. Cosbert. *Economics of Labor : Introduction to Wage Bargaining*. Todd & Honeywell, 1989.
- [11] B. Don and M. Jackson. *Labor Economics: Choice in Labor Market*. McGraw-Hill Book Co., 1983.
- [12] Ronald G. Ehrenberg and Robert S. Smith. *Modern labor economics : theory and public policy*. Pearson/Addison Wesley, 1982. (11th ed. in 2011).
- [13] Belton M. Fleisher. *Labor Economics: Theory and Evidence*. Prentice Hall, 1970. (津田真澄他 (訳) 『労働経済学』 1974 年及び 1977 年).
- [14] Richard B. Freeman. *Labor economics*. Englewood Cliffs, N.J., Prentice-Hall, 1972. (内海洋一 (訳) 『労働経済学』 東洋経済新報社, 1974 年).
- [15] D. S. Hamermesh, R. K. Filer and A. E. Rees. *Economics of Work and Pay*. HarperCollins College Publishers, 6th edition, 1996.
- [16] Saul D. Hoffman. *Labor Market Economics*. Englewood Cliffs, N.J. : Prentice-Hall, Inc., 1986.
- [17] J. R. Hicks. *The theory of wages*. London : Macmillan, 1932. (2nd ed. in 1963 ; 内田忠壽訳 『賃金の理論』 東洋経済新報社, 1952 年及び 1975 年).

- [18] B. E. Kaufman. *The origins & evolution of the field of industrial relations in the United States*. Ithaca : ILR Press, 1993. (Cornell studies in industrial and labor relations . 25 ).
- [19] B. E. Kaufman. *The economics of labor markets and labor relations*. Chicago : Dryden Press, 4th edition, 1994.
- [20] B. E. Kaufman. The institutional and neoclassical schools in labor economics. 2004. (in Champlin and Knoedler (eds.) [2, Ch.1]).
- [21] John Edward King. *Labour Economics*. Palgrave Macmillan, 1972. (小川登 (訳) 『労働経済学入門』 ミネルヴァ書房, 1978 年).
- [22] Edward P. Lazear. *Personnel Economics*. MIT Press, 1995. (Wicksell Lectures).
- [23] Paul J. McNulty. *The Origins and Development of Labor Economics: A Chapter in the History of Social Thought*. The MIT Press, 1984.
- [24] Daniel J.B. Mitchell and Mahmood A. Zaidi (eds.). *The economics of human resource management*. Oxford ; Cambridge, Mass. : Basil Blackwell, 1990.
- [25] Stephen G. Peitchinis. *Canadian labour economics: an introductory analysis*. MacGraw-Hill Co. of Canada, 1970.
- [26] Albert E. Rees. *The economics of trade unions*. University of Chicago Press, 1962. (田村剛 (訳) 『労働組合の経済学』 日本生産性本部, 1991 年).
- [27] Albert E. Rees. *The Economics of Work and Pay*. Harpercollins College Div, 1973.
- [28] Lloyd George Reynolds. *Labor economics and labor relations*. Englewood Cliffs, N.J. : Prentice-Hall, 1949.
- [29] Richard Allen Lester. *Economics of Labor*. Washington Book Store, 1940.
- [30] K. W. Rothschild. *The theory of wages*. Oxford : Blackwell, 1954. (賃金問題研究会 (訳) 『現代賃金論入門』 東京創元社, 1957 年).
- [31] Richard L. Rowan and Herbert R. Northrup (eds.). *Readings in labor economics and labor relations*. Homewood, Ill. : Irwin, 1968.

- [32] 伊佐勝秀. 「中国における労働経済学の教育動向—文献サーベイによる日中比較—」. 『東アジアへの視点』, Vol. 23, No. 1, pp. 27-37, 2012年3月.
- [33] 伊佐勝秀. 「日本における労働経済教育の過去と現在：教科書サーベイによるアプローチ」. 2014年10月. (社会政策学会 第129回大会 (岡山大学) 労働史部会分科会「労働・職業教育の新地平」報告論文).
- [34] 奥西好夫. 「アメリカの労働経済学—1970年代後半以降の動向」. 『日本労働研究雑誌』, Vol. 38, No. 2/3, pp. 43-52, 1996年.
- [35] 岸本英太郎編. 『労働経済論入門』. 有斐閣, 1969年.
- [36] 神代和欣. 「労働経済学の日本的展開」. 『季刊 労働法』, 別冊2号, pp. 2-17, 1978年.
- [37] 神代和欣. 「労働経済学」. 『日本労働研究雑誌』, No. 621, pp. 2-7, 2012年4月. (特集：この学問の生成と発展 労働経済).
- [38] 神代和欣編. 『労働経済論』. 八千代出版, 1998年.
- [39] 田村剛. 『労働経済学の基礎理論』. 学文社, 1989年.
- [40] 島田晴雄. 『労働経済学のフロンティア』. 総合労働研究所, 1977年.
- [41] 八木紀一郎 (代表) + 有賀裕二・大坂洋・大西広・吉田雅明 (編). 『経済学と経済教育の未来』. 桜井書店, 2015年.
- [42] 尾高煌之助. 「理論と現実のほどよい緊張」. 『日本労働研究雑誌』, No. 477, pp. 32-6, 2000年4月.
- [43] 北澤新次郎. 『労働経済論』. 巖松堂, 1922年.
- [44] 野村正實. 『日本の労働研究—その負の遺産—』. ミネルヴァ書房, 2003年.

著者	タイトル	出版社	出版年	版情報
Solomon Blum	Labor economics	New York : H. Holt	1926	
J. R. Hicks	The theory of wages	London : Macmillan	1932	2/e (1963)
Dale Yoder	Labor economics and labor problems	New York : McGraw-Hill	1933	3/e (1950)
Norman J. Ware	Labor in modern industrial society	Boston : D.C. Heath	1935	2/e (1968)
Richard Allen Lester	Economics of Labor	Washington Book Store	1940	2/e (1964)
Philip Taft	Economics and problems of labor	Stackpole	1942	3/e (1955)
Friedrich Baerwald	Fundamentals of labor economics	New York : McMullen	1947	2/e (1952)
Florence Peterson	Survey of labor economics	New York : Harper	1947	2/e (1951)
Richard Allen Lester	Economics of Labor	New York : Macmillan	1948	
Lloyd George Reynolds	Labor economics and labor relations	Englewood Cliffs, N.J. : Prentice-Hall	1949	11/e (1998)
Joseph Shiester	Economics of the labor Market	Chicago : J.B. Lippincott	1949	2/e (1956)
P. Florence	Labour	London : Hutchinson's University Library	1949	
Gordon F. Bloom and Herbert R. Northrup	Economics of labor and industrial relations	Philadelphia ; Toronto : Blakiston	1950	
Orne W. Phelps	Introduction to labor economics	New York : McGraw-Hill.	1950	4/e (1967)
Richard Allen Lester	Labor and industrial relations, a general analysis	Macmillan	1951	2/e (1958)
Frederic Meyers	Economics of labor relations	Chicago : Richard D. Irwin	1951	
Kastur chand Lalwani (general editor)	Labour economics	Artha Vanijya Gabesana Mandir	1953	2/e (1961)
Pearce Davis and Gerald J. Matchett	Modern labor economics : an analysis of labor-management relations	New York : Ronald Press Co.	1954	
K. W. Rothschild	The theory of wages	Oxford : Blackwell	1954	3/e (1967)
Alfred Kuhn	Labor : institutions and economics	New York : Rinehart	1956	2/e (1967)
A. L. Gittlow	Labor economics and industrial relations	Homewood : Richard D. Irwin	1957	
Paul E. Sultan	Labor economics	New York : Holt	1957	3/e (1971)
Melvin Warren Reder	Labor in a growing economy	New York : Wiley	1957	
Neil W. Chamberlain	Labor	New York : McGraw-Hill	1958	

著者	タイトル	出版社	出版年	版情報
Allan Murray Cartter	Theory of wages and employment	Homewood, Ill. : Irwin	1959	
Dale Yoder and Herbert G. Heneman Jr.	Labor economics and industrial relations	Cincinnati : South-Western Pub. Co	1959	2/e (1965)
Arthur D. Butler	Labor economics and institutions	New York : Macmillan	1961	
D.J. Robertson	The economics of wages and the distribution of income	Macmillan	1961	
Chester A. Morgan	Labor Economics	Dorsey Press,	1962	3/e (1970)
E.H. Phelps Brown	The economics of labor	New Haven : Yale University Press	1962	
H.D. Woods and Sylvia Ostry	Labour policy and labour economics in Canada	Macmillan of Canada	1962	
Albert E. Rees	The economics of trade unions	University of Chicago Press	1962	3/e (1989)
John Edward Maher	Labor and the Economy	Allyn and Bacon	1965	
William H. Miernyk	The economics of labor and collective bargaining.	Boston : D.C. Heath	1965	2/e (1973)
Neil W. Chamberlin	The Labor Sector : An Introduction to Labor in the American Economy	NY : McGraw-Hill	1965	3/e (1980)
K. C. Lalwani	Economics of industrial labour : theory & practice	Artha Vanijya Gabesana Mandir	1965	
Stephen G. Peitchimis	The economics of labour : employment and wages in Canada	McGraw-Hill	1965	
Walter Galenson	A primer on employment and wages	New York : Random House	1966	2/e (1970)
Allan M. Cartter and F. Ray Marshall	Labor economics : wages, employment, and trade unionism	Homewood, Ill. : R.D. Irwin	1967	5/e (1984)
Bhagwant Nageshrao Datar	Labour economics	Allied Publishers,	1968	
Richard Perlman	Labor Theory	John Wiley and Sons	1969	
L.C. Hunter and D.J. Robertson	Economics of wages and labour	A. M. Kelley	1969	
K. C. Lalwani	Economics of industrial labour : a comparative analysis in theory & practice in democratic as well as socialistic countries with special reference to India	World Press	1969	



著者	タイトル	出版社	出版年	版情報
Belton M. Fleisher	Labor Economics ; Theory and Evidence	Prentice Hall,	1970	3/e (1984)
C. Glyn Williams	Labor economics	New York : Wiley	1970	
Raghu Raj Singh	Labour economics	Sri Ram Mehra	1970	
Stephen G. Peitchinis	Canadian labour economics : an introductory analysis	MacGraw-Hill Co. of Canada	1970	
Lowell E. Gallaway	Manpower economics	Homewood, Ill. : R.D. Irwin	1971	
Malcolm R. Fisher	The economic analysis of labour	London : Weidenfeld and Nicolson	1971	
Richard Barry Freeman	Labor economics	Englewood Cliffs, N.J., Prentice-Hall	1972	2/e (1979)
John Edward King	Labor Economics	Palgrave Macmillan	1972	2/e (1990)
John Corina	Labour market economics : a short survey of recent theory	London : Heinemann Educational	1972	
H.D. Woods, Sylvia Ostry and Mahmood A. Zaidi	Labour economics in Canada	Toronto : Macmillan of Canada	1972	3/e (1979)
Albert E. Rees	The Economics of Work and Pay	Harpercollins College Div	1973	6/e (1996)
Edward B. Jakubauskas and Neil A. Palomba	Manpower economics	Reading, Mass. : Addison-Wesley Pub. Co.	1973	
Edward D. Kalachek	Labor markets and unemployment	Belmont, Calif. : Wadsworth Pub. Co.	1973	
Roy B. Helfgott	Labor Economics	Random House	1974	2/e (1980)
James W. Robinson, James T. Turner and Roger W. Walker	Introduction to labor	Englewood Cliffs, N.J. : Prentice Hall	1975	2/e (1985)
J.D.S. Appleton	Labour economics	Macdonald and Evans,	1975	3/e (1984)
Allan M. Cartter	Theory of wages and employment	Greenwood Press	1975	
Don Bellante and Mark Jackson	Labor economics : choice in labor markets	New York : McGraw-Hill	1979	2/e (1983)
John T. Addison and W. Stanley Siebert	The market for labor : an analytical treatment	Santa Monica, Calif. :	1979	
Gordon I. Swanson and Jon Michaelson (eds.)	Manpower research and labor economics	Goodyear Pub. Co. Sage Publication	1979	

著者	タイトル	出版社	出版年	版情報
Juamita M. Kreps, Gerald G. Somers and Richard Perlman Morley Gunderson	Contemporary labor economics : issues, analysis, and policies Labour market economics : theory, evidence and policy in Canada	Belmont, Calif., Wadsworth Pub. Co. McGraw Hill Higher Education	1980 1980	2/e (1980) 7/e (2012)
Robert M. Fearn	Labor economics : the emerging synthesis	Winthrop Publishers	1981	
Michael J. Carter and William H. Leahy (eds.)	New directions in labor economics and industrial relations.	Notre Dame : University of Notre Dame Press	1981	
Ingrid H. Rima	Labor markets, wages, and employment	New York : Norton	1981	
David Sapsford	Labor market economics	Allen & Unwin	1981	
Ronald G. Ehrenberg and Robert S. Smith	Modern labor economics : theory and public policy	Pearson/Addison Wesley	1982	12/e (2014)
Gary A. Moore and Randy D. Elkin	Labor and the economy : an introduction to analysis, issues, and institutions	Cincinnati : South-Western Pub. Co.	1983	
Ken Mayhew	Trade unions and the labour market	Oxford : M. Robertson	1983	
Caroline Joll, C. McKenna, R. McNabb and John Shorey Howard M. Wachtel	Developments in labour market analysis	London : Allen & Unwin	1983	
William Darity, Jr (ed.)	Labor and the economy Labor economics : modern views	Orlando, [Fla.] : Academic Press Kluwer-Nijhoff, Distributors for North America, Kluwer Boston	1984 1984	3/e (1988)
Robert J. Flanagan, Robert S. Smith and Ronald G. Ehrenberg	Labor economics and labor relations	Glenview, Ill. : Scott, Foresman	1984	
Derek Carlino, Christopher A. Pissarides, W. Stanley Siebert and Peter J. Sloane Saul D. Hoffman	Labour economics	London : New York : Longman	1985	
Campbell R. McConnell, Stanley L. Brue and David MacPherson Clark Kerr and Paul D. Staudohar (eds.) Francine D. Blau and Marianne A. Ferber	Labor market economics Contemporary Labor Economics Economics of labor in industrial society The economics of women, men, and work	Englewood Cliffs, N.J. : Prentice Hall McGraw Hill Higher Education San Francisco, Calif. : Jorsey-Bass. Prentice-Hall	1986 1986 1986 1986	10/e (2013) 6/e (2010)

著者	タイトル	出版社	出版年	版情報
Bruce E. Kaufman	The economics of labor markets and labor relations	Chicago: Dryden Press	1986	7/e (2005)
Pramod Verma	Labour economics and industrial relations	New Delhi: Tata McGraw-Hill	1987	
Peter Fallon and Donald Verry	The economics of labour markets	Oxford [Oxfordshire]: Philip Allan	1988	
Ronaldo Munck	The new international labour studies: An introduction	LONDON: Zed Books	1988	
Nick Adnett	Labour market policy	London: Longman	1989	
W. F. Cosbert	Economics of Labor: Introduction to Wage Bargaining	Todd & Honeywell	1989	
David Sapsford and Zafiris Tzannatos (eds.)	Current issues in labour economics	Basingstoke: Macmillan Education	1990	
Theresa J. Devine and Nicholas M. Kiefer	Empirical labor economics: the search approach	New York: Oxford University Press	1991	
Robert F. Elliott	Labor economics: a comparative text	London; New York: McGraw-Hill	1991	
David Sapsford and Zafiris Tzannatos	The Economics of the Labour Market	Palgrave Macmillan	1993	
William Darity, Jr (ed.)	Labor economics: problems in analyzing labor markets	Boston: Kluwer Academic	1993	
Clark Kerr and Paul D. Staudohar (eds.)	Labor economics and industrial relations: markets and institutions	Cambridge, Mass.: Harvard University Press [distributor]	1994	
Stephen W. Smith	Labour Economics	Routledge	1994	2/e (2003)
Nick Adnett	European labour markets: analysis and policy	London: Longman	1996	
Ingrid H. Rima	Labor markets in a global economy: an introduction	Armonk, N.Y.; London: M.E. Sharpe	1996	
Derek Bosworth, Peter Dawkins and Thorsten Stromback	The economics of the labour market	Harlow, Essex: Longman	1996	
George J. Borjas	Labor Economics	McGraw Hill Higher Education	1996	7/e (2015)
Jiwitesh Kumar Singh	Labour economics: principles, problems and practices of trade unionism, industrialisation, wages, social security and I.L.O.	Deep & Deep Pub.,	1998	

著者	タイトル	出版社	出版年	版情報
Pierre Cahuc and Andre Zylberberg	Labor economics	Cambridge, Mass. : MIT Press	2004	2/e (2014)
Joyce P. Jacobsen and Gilbert L. Skillman	Labor markets and employment relationships : a comprehensive approach	Malden, MA : Blackwell Pub.	2004	
Thomas Hyclak, Geraint Johnes and Robert J. Thornton	Fundamentals of Labor Economics	Houghton Mifflin College Div	2005	2/e (2012)
Boeri, Tito and Jan Van Ours	The Economics of Imperfect Labor Markets	Princeton University Press	2008	2/e(2013)
Yves Zenou	Urban labor economics	Cambridge : Cambridge University Press	2009	
Derek Laing	Labor economics : introduction to classic and the new labor economics	New York : W.W. Norton	2011	
Stephen Bazen	Econometric methods for labour economics	Oxford : Oxford University Press	2011	
Jeffrey J. Sallaz	Labor, economy, and society	Cambridge : Polity	2013	